

クラブ訪問挨拶

RI 第 2510 地区 2021-22 年度 ガバナー 大日向 豊吉

お世話になります。函館五稜郭ロータリークラブ会員大日向豊吉でございます。

時節柄何かとお忙しい中、また未だコロナ感染に不安を覚える最中、ロータリー奉仕活動のため日々ご尽力されておりますことに会員各位に心から有難く厚く感謝と御礼を申し上げます。

既に皆様もご案内のとおり、シェカール・メータ RI 会長はテーマについて「奉仕しよう 皆の人生を豊かにするために」と発表されました。「奉仕するときは、誰かの人生だけではなく、自分の人生も豊かになります。」と講演の中で話されております。

私の地区方針は「世界に奉仕を 地域には感謝を」「不忘感謝先人偉業」と致しました。（「先人の偉業」をご先祖様と解釈することに意味があります。）

皆様におかれましては、今までこれからもロータリークラブをはじめ、職業を通じて地域に世界に様々な奉仕活動をされていくことだと思います。

皆様にお尋ね致したいと思います。皆様は、様々な奉仕活動をされてきて「自分の人生が、豊かになりました。」と気づいている方はおられますか？皆様は「ロータリークラブに入会して良かった。」と思っておりますか？もう 1 点お尋ねしたいと思います。皆様は「後継者の育成について」考えたことがありますか？

先ほどもお話致しましたように、シェカール・メータ RI 会長は公園の中で「奉仕するときは、誰かの人生だけではなく自分の人生も豊かになります。」と話されております。

豊かさを実感されている方もおりました。また、多くの皆さん「ロータリークラブに入会して良かった。」と思っております。倒産寸前の会社を再生した「四つのテスト」「ロータリーの中核的価値観」「もっとも良く奉仕するもの 最も多く報われる」。これらロータリーの名言等は、現在地域・世界が新型コロナで疲弊し、先の見えない不安の最中にいる私たちロータリアンに「希望という救いの光」、一縷の輝きを抱かせてくれていると思います。

いかがでしょうか、皆さん。これらの名言はロータリー用語としてのみ理解するだけではなく、自己のイノベーション・会社や地域、目の前にある現実に当てはめ、考え、行動をしていただきたいと思います。

会員増強と言われ、現状からは無理難題だと多くのロータリアンは答えるでしょう。正直言って無理難題を解決できるのが、私たちロータリアンだと思うのです。一人の力は小さいけれど、多くの力を合わせると動かぬ山でさえ動かすことができるのです。現在の環境に諦めることなく地域社会の活性化に向け、私たちロータリアンが動きましょう！大いに議論致しましょう！

ロータリアンの価値は、中期・長期的に考えるヒントを与えてくれるでしょう。普段何気なく見ていた雑木林は明日ワイン用ブドウ畠に変身するかもしれません。温泉は入浴するだけではなく、知恵の出し方により化粧品やミネラルウォーターになるかもしれません。近くにある修理工場は、いつの間にか外国人が働き中古車を解体して使用できる部品は海外に輸出をしているそうです。除外品の農産物も考えようでは生薬等に生まれ変わることができます。

その貴重な話し合いの結果を、各グループ 3 分程度にまとめ、地区大会においてガバナー補佐の皆様に発表していただきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

私はロータリーについて、入会の折に推薦者からご教示いただいたことは、例会 100%出席義務と「四つのテストだけしっかり覚えなさい。」でした。ロータリーについてはそれ以外のことは知りません。とんでもないガバナーでありますよろしくお願ひいたします。

地区大会につきましては、後日皆様のもとにチラシが届くと思いますが、10月 10 日のスケジュールに 9 時 30 分からの指導者育成セミナーが印刷漏れとなっておりました。ここに連絡をいたします。

皆様のご来函を心からお待ちいたしております。ぜひご参加をお願いいたします。